

野口聡一（のぐち そういち）宇宙飛行士搭乗の
米国クルードラゴン宇宙船運用初号機の打上げ成功について
〔内閣府特命担当大臣（宇宙政策）談話〕

本日、野口聡一宇宙飛行士を含む4名が搭乗した米国クルードラゴン宇宙船運用初号機の打上げが成功し、国際宇宙ステーション（ISS）とのドッキングを完了したとの報告を受けました。

民間企業が開発した有人宇宙船による打上げ成功は、宇宙利用の拡大が急速に進む宇宙新時代の幕開けを象徴する出来事です。この初号機に、3人の米国の宇宙飛行士とともに、日本の宇宙飛行士が搭乗していることは、我が国のこれまでの有人宇宙活動に対する高い評価の表れと思います。

宇宙政策を担当する大臣として、野口宇宙飛行士の活躍を期待するとともに、今後とも、ISSを含む地球低軌道や月探査における民間企業の参画促進等を通じて、我が国の宇宙開発利用が拡大するよう、宇宙政策を強力に推進してまいります。

令和2年11月17日
内閣府特命担当大臣（宇宙政策）
井 上 信 治